

科目名		授業形態	担当教員名	
高次脳機能障害学Ⅰ（失行、失認）		講義	中西 千代美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
失行や失認は高次脳機能障害の代表的症状である。これらは脳損傷に起因し、比較的高率に言語障害に合併する。対象症例の全体像を把握するためには、症状の理解が必要である。具体的な理解を援助するために、視覚的教材（ビデオや検査道具）を用いて、症状の理解・評価および訓練について学習する。				
授業の到達目標				
失行、失認、認知症など高次脳機能障害についての基本的な知識の修得を目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	高次脳機能障害の全体的注意、視空間の知覚障害 視野欠損			
2	視空間障害 半側空間無視Ⅰ			
3	視空間障害 半側空間無視Ⅱ			
4	身体意識・病害認知の障害 病態失認			
5	身体意識・病害認知の障害 ゲルストマン症候群			
6	視空間障害 バリント症候群 視覚性運動失調 構成障害			
7	視覚認知の障害 視覚失認			
8	視覚認知の障害 相貌失認 地誌的見当識障害			
9	視覚認知の障害 色彩失認			
10	行為・動作の障害 非失行性障害			
11	行為・動作の障害 観念性失行			
12	行為・動作の障害 観念運動性失行			
13	認知症Ⅰ			
14	認知症Ⅱ			
15	認知症Ⅲ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準言語聴覚障害 高次脳機能障害学	藤田郁代 監修		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				